

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

第 21 号

平成11年(1999年)7月



世界はひとつ

ともに築こう 友情の輪を!

宇治市国際親善協会 会長 池 本 正 夫

五月八日に行われた宇治市国際親善協会理事
事会において、平成十一・十二年度の会長が
決まりました。この度新会長に就任されまし
た池本正夫氏に、ご挨拶をいただきました。



宇治市国際親善協会会員の
皆様方には、ご健勝のことと
お喜び申し上げます。

この度、協会員の皆様方
ご推挙をいただき、宇治市国
際親善協会の会長に就任させ
ていただきました。どうぞよ
ろしくお願いいたします。

地方都市における国際化へ
の世論の高まりと国際交流に
対する市民の関心が寄せられ
る中で、昭和六十二年三月に
宇治市国際親善協会が設立さ
れ、今日まで所期の目的を達

成するため幅広い事業を展開
していただいてまいりました
ことに心より敬意と感謝を申
し上げる次第でございます。

とりわけ谷岡前会長におか
れましては、協会設立当初か
ら会長として、友好都市との
橋渡しや市民間の草の根交流
事業の促進に、その先頭に立っ
てご尽力いただき、今日の宇
治市における国際交流の礎を
築いていただいております。
たことに改めて厚くお礼を申
し上げる次第でございます。

人と人、

国と国との共生

いまや文化・スポーツ活動
ばかりでなく、政治経済、環
境問題あるいは情報・産業活
動などあらゆる分野において

グローバル化が際立ち、その
広がりを見張るものがあり、
世界を見ずして、地域を
語れない時代を迎えていると
思う訳でございます。

それほどに私たちの市民生
活の中に国際化の波が確実に
押し寄せ、反対に私たちの考
えや行動が世界に発信され、
国際社会を動かす大きな原動
力となっているものと確信す
るものでございます。

まさに隔たりのない世界：
世界はひとつの時代の到来で
あると言わざるを得ず、人と
人、国と国の対立を戒め、友
情の輪の無限の広がりに向け
てを寄せるものでございます。

そのためにも宇治市国際親
善協会が小さい力ではござい
ませんが、その大きな役割を担っ
ていかなければならないと考
える次第でございます。

* * * * *

私は、谷岡前会長の後任と
して、会長に就任させていただきました
訳でございますが、谷岡
前会長をはじめ役員の皆様方

や多くの市民の方々によって
育んでいただいております
た宇治市における活発な国際
交流を隆々発展させ、さらに
国際社会における宇治市国際
親善協会の限らない存在意義
を追究していくことが、私に
与えられた使命であると認識
いたしております。

私は、平成九年十二月まで
の四期十六年間に、宇治市長を
務めさせていただき、その間
国際交流を市政推進の重要な
柱として取り組んでまいった
ところでございますが、その
原点の気持ちを今一度思い起
こしながら、今後とも協会員
の皆様方とともに力を合わせ
て、宇治市の国際交流施策の
中核的な担い手であります宇
治市国際親善協会の会長の職
務に専念してまいる決意でご
ざいます。

協会員の皆様方をはじめ、
久保田市長様並びに市当局の
変わらぬご支援とご協力を賜
りますようお願い申し上げます
として、会長就任のごあいさつ
とさせていただきます。



平成十一年度総会 事業・予算・役員等を決定

宇治市国際親善協会の平成十一年度総会が、五月八日に宇治市役所八階大会議室で開かれ、一六九名(うち委任状出席一三八名、会員数二七〇名)の出席のもと、審議が行われました。議案内容は、次のとおりです。

まず、平成十年度事業報告案および収支決算案があわせ

総会の中で従来の「顧問」を廃止し新たに「名誉会員」を置くという規約の改正について審議され、可決されました。

総会ならびに理事会で選出・承認された平成十一・十二年度の役員の皆様は次の方々です。二十一世紀の国際交流に向けてよろしく願っています。(敬称略 順不同)

- 名誉会長 久保田 勇
- 名誉会員 小牧 直人 谷岡 武雄
- 会長 池本 正夫

て審議され、可決されました。次に、平成十一年度事業計画案および予算案があわせて審議され、可決されました。

この中で、現在宇治市の友好都市であるヌワラエリヤ市、咸陽市、カムループス市に加え、ヨーロッパ地域の都市と

副会長 中川 恵次 上林 春松 城島 健治 長束 元和

- 理事 関 誠一 下岡 修吾
- 笠嶋 教瑞 岩田 清孝
- 長村 隆造 曾谷 和子
- 加藤 吉辰 照喜名邦保
- 池本 梢秀 前川 桂子
- 大川 優 清水 哲男
- 吉田 利一 杉本 貞雄
- 古川 宏司 伊藤 宗恂
- 塚本 樹 菱田 俊子
- 宇野道之助 下岡矢市郎
- 阪本 要 今川 博

- 監事 平田 泰彦 高保 博
- 事務局長 新谷 昭

平成11年度 宇治市国際親善協会予算

収入の部

項目	当初予算額	説明	金額
1 会費	787,000	1 個人会員 @ 2,000×211口	422,000
		2 団体会員 @ 5,000×27口	135,000
		3 法人会員 @ 10,000×22口	220,000
		4 過年度分	10,000
2 補助金	2,000,000	1 宇治市補助金	500,000
		2 訪問団派遣補助金	1,500,000
3 負担金	320,000	1 語学講座参加者負担金 (英語 8,000×20人=160,000、中国語 8,000×20人=160,000)	320,000
4 雑入	1,000	1 預金利子	1,000
5 繰越金	1,142,600	1 前年度繰越金	1,142,600
合計	4,250,600		

支出の部

項目	当初予算額	説明	金額
1 会議費	50,000	1 総会、理事会、運営部会	
2 報償費	80,000	1 慶弔費、講演会謝礼等	
3 事務費	300,000	1 消耗品費 感熱紙、フロッピー他	100,000
		2 通信運搬費 切手、ハガキ	130,000
		3 印刷製本費 封筒他	70,000
4 事業費	3,550,000	1 会報の発行(4回)	250,000
		2 語学講座(中国語・英語)の開催	500,000
		3 日本語講座の開催	900,000
		4 ボランティア養成講座	100,000
		5 各種団体との提携事業	180,000
		6 友好都市交流補助事業	1,500,000
		7 来訪者歓迎事業	120,000
5 予備費	270,600	1 予備費	270,600
合計	4,250,600		

の交流を検討してほしいという意見や、それに伴って市民の皆様がもっと気軽に国際交流できる場を設けてほしいという声をいただきました。当協会はこれらの貴重な意見などを参考に、より多くの会員の皆様が外国都市と親善・交流を図っていただけるよう活動していきたいと考えています。

最後に、平成十一・十二年

度の役員を選任が行われ、十七名の理事と二名の監事を選出、その後の理事会において、会長に前宇治市長の池本正夫氏、副会長に中川恵次氏、上林春松氏、城島健治氏(以上、再任)、長束元和氏(新任)の四氏が選出されました。総会に引き続き、長年にわたり当協会会長を務めていただいた谷岡武雄氏の講演会が行われました。『シェークス

ピア「ロミオとジュリエットの町」北イタリアのヴェローナ」と題し、同氏が実際に見てこられた美しい恋の街をスライドを交えてお話しされました。「皆さん、恋をしたことはありますか？」で始められ、参加者一同初恋時代を思い出したり、一度行ってみたいなと感じたすばらしい内容でした。(事務局)

宇治市国際親善協会、平成十一年度もいろいろな活動を行います

皆様の参加・ご協力をお待ちしています

啓発・研修事業

①宇治市国際親善協会ニュースの発行

約五〇〇部を発行し、会員の皆様および関係団体などにお配りします。年四回の発行を目指し、一層の充実を図っていきます。また、当ニュースは、会員の皆様と協会が交流することができると重要な場です。当ニュースや国際親善に関することで、体験談やご意見など、掲載してほしい記事がありましたら、当協会までお寄せください。

②語学講座

中国語（初級：定員二〇名）、英語（初級：定員二〇名）の二コースを実施します。

中国語、英語の語学力を身につけていただく以外に、講師と受講者の交流を図ることができると非常に楽しい場にもなっています。

期間は、平成十一年十月から平成十二年三月まで、合計十六回実施します。会費は、会員の皆様は八千円

です。詳しくは、市政だより（十月頃発行）をご覧ください。

③ボランティア養成講座

当協会がめざす市民の草の根交流の核となる人を養成し、国際交流ボランティア活動を推進するため、市民の皆様を対象に開催します。国際交流に興味を持ち、ボランティア活動を行う時の心がまえを知っていただくための初歩的な講座です。今後、参加者枠の拡大を図っていく予定です。どうぞ気軽にご参加ください。開催時期は平成十一年十一月、合計三回実施します。会費は、会員の皆様は三千円です。詳しくは、市政だより（十月頃発行）をご覧ください。

交流推進事業

①訪問団派遣・受入れ事業協力

宇治市では二十一世紀に向けて国際感覚豊かな市民を育てることにより、世界平和の維持・発展に貢献していくことを大きな目標と

して国際交流施策を進めています。現在宇治市が友好都市盟約を結んでいる都市は、又ワラエリヤ市、咸陽市およびカムループス市の三市ですが、両市民間相互の交流活動として主に双方からの訪問団派遣・受入れを行っています。当協会ではこれらの派遣・受入れ事業を可能な限りバックアップしていくこととしています。

宇治市からの訪問団は、友好都市の人々にいつも大歓迎していただいています。また、宇治市を訪問された人々にも喜んでいただけるよう、いろいろなメニューで歓迎の意をあらわしています。

又ワラエリヤ市

又ワラエリヤ市とは、昭和六十一年四月に友好都市盟約を締結し、これまでに二十二回、一三〇人近い市民が相互に訪問しています。

現在、残念ながらスリランカの国情が不安定な状況となっているため、又ワラエリヤ市への公式訪問団派遣事業は中断しています。しかし、幸い又ワラエリヤ市域では事件等も発生して

いないので、訪問団派遣が再開される日もそう遠くないと思います。

咸陽市

咸陽市とは、昭和六十一年七月に友好都市盟約を締結し、これまでに四十五回、六五〇人近い市民が相互に訪問しています。

両市の公式訪問団の派遣・受入れに当たり、両市間で次のとおり取り決めを行っています。

宇治市から咸陽市への訪問団：三ヶ年度のうち、二ヶ年度訪問団を派遣する。（派遣人数：二十人）

咸陽市から宇治市への訪問団：毎年、受入れを行う。（派遣人数：五人）

カムループス市

カムループス市とは、平成二年七月に友好都市盟約を締結し、これまでに七十五回、九五〇人近い市民が相互に訪問しています。

両市の公式訪問団の派遣・受入れに当たり、隔年ごとに訪問・受入れを行うことにしています。

②中国帰国子女日本語基礎講座の開催

中国からの帰国者を対象とした日本語基礎講座を開

催し、語学力の向上と友好を深めています。中国からの帰国者は、日本で生活する上で日本語に大変苦労されることが多く、当講座はこうした人々の生活を助けるのに役立っています。平成十一年四月から平成十二年三月まで、平成青少年センターで開催中です。

その他の国際交流事業

①カリブ大学市民留学生の派遣協力

宇治市から派遣するカリブ大学市民留学生に対して、当協会が支援を行っています。留学生は、青少年親善友好大使としてカナダで生活するなかで、いろいろなことを吸収しています。



▲ 中国語語学講座

今年も咸陽の子供たちに本を送りましょう

「咸陽の子どもたちに本を贈る会」は、宇治市が中国陝西省の第二の都市である咸陽市と友好都市盟約を結んだ十周年を記念し、一九九六年に市民有志で結成されました。

中国は現在、経済的に目を見張る勢いで発展しています。が、内陸部の農村地帯や山岳地帯では、貧困のために学校に行くことができない子どもがまだまだ数多くいます。宇治市の友好都市である咸陽市も同様で、こういった子どもたちに本を贈り少しでも教育に役立てば...というのが「咸陽の子どもたちに本を贈る運動」です。



この運動は今までに三回行われ、教育施設に恵まれない十四の小学校および中学校に合計七二〇冊余りの教育図書を送っています。本を贈られた子どもたちは大変喜び、本を贈られた方にお礼の手紙が数多く寄せられています。とりわけ、昨年度は市民有志の訪問団によって、二中学校・四小学校に直接届けられ、贈られた真新しい本を見た子どもたちの素直な澄んだ眼が、昨今の日本の子どもたちのそれと大きく違ったと、訪問団員の皆様全員が、感想を述べられています。

目下、同本を贈る会では、今年度も九月頃の贈呈実施を目指して、第四回日のカンパ・募金活動を展開中です。

一口五〇〇円で、用意されているラベルに自分の名前を書き、贈呈のための訪問団が上海で直接購入した本にそのラベルを一枚ずつ貼り、咸陽市の子どもたちに贈られます。皆様のちょっとした気持ちは、咸陽市の子どもたちの成長の大きな役に立ちます。このような交流も協会の大きな活動目標のひとつです。

会員の皆様方の温かいご協力を願います。詳しくは、「咸陽の子どもたちに本を贈る会」(代表：上林春樹) 事務局：宇治市宇治妙楽三八 ☎〇七七四・二二・二五一一三)までお問い合わせください。

愿宇治市和咸阳市人民永远友好下去！

贈送者

〈本書是大家共同之読物，注意清洁〉

▲ このラベルを本に貼り、咸陽市に送ります

会費を納入

してください

平成十一年度の会費を未納の方は、早速納めてください。会費は協会の血であり、栄養です。これがないと、会の運営も活動も、ままなりません。どうぞ、よろしく願います。

会費は、

個人会員 二千元

団体会員 五千元

法人会員 一万円 です。

納入の方法は、振替でどうぞ。

京都銀行なら宇治支店の普通

預金 678459

南京都信用金庫なら本店普通

預金 907725

いずれも受取人は『宇治市国際親善協会』です。



UIFA ニュース 二十一号をお届けします。

滞りがちであった本誌を、年三〜四回発行しようということになったのが、昨年の総会後の第一回運営委員会の席上。編集長は運営委員が交代で受け持つこと、サイズは従来のB5判をA4判に改める、内容も充実したものにする、ということとで新生第一号(十八号)を発行したのが七月。

本号が初年度の最終号になるのか、新年度の初号になるのかは別にして、編集を担当した委員、事務局各位の努力によって、かろうじて目的に到達したことを自負する次第。この度、親善協会創立以来、会長をとめていただいた谷岡氏のご勇退、新会長として、前市長の池本正夫氏を迎え、運営委員も女性メンバーを加えて一新。更に読み応えのある内容でみなさんに情報を提供する意気込みで、予定通りの発行に務める所存です。ご期待とご協力を切に願います。(上林)